

## 第 7 次瑞浪市総合計画基本構想（案）に対する意見と回答

No.	ページ	意見	回答	修正の有無	意見の出所
1	1	人口の表記については明確な数値が出ているため、文言を「歯止めをかけます」ではなく、目標として34,000人が市として持続可能で、幸せに暮らしていけるということが一言あれば、読み手側にも不安感がなくなるように思う。	「持続可能」という文言については、SDGsの推進のほか、様々な場面で用いられるようになりまし た。「将来に渡って持続的・永続的に営まれる」との意味合いで使われますが、人口フレームの項 目においても、「持続可能な目標として、・・・」と明記します。	有	総計審
2	2	基本方針の箇所では、「各地域の魅力ある恵まれた資源を活用し、「コンパクトシティ・プ ラス・ネットワーク」の考え方～」と記載があるが、6次総の時もコンパクトシティを目標 とされていた結果、あまり効果が出ていないように見受けられる。PTA連の中でも市街中 心部の学校の生徒数が多いが、山間部や遠隔地の学校は少子化により複式学級が生じる学校 も出てくる。コンパクトシティ・プラス・ネットワークとの記載があるが、市内の若者が市 の中心部に行くことにより、市内から離れている箇所の少子化が進み、高齢化に拍車がかか り、地域の担い手が減っていくということになる。 よって、市はコンパクトシティにこだわる必要がないのではないか。瑞浪市には魅力ある歴 史ある地域や自然が豊かなところがたくさんあるので、コンパクトシティにこだわり、市内 の中心部に人を集めていくことは、市内の人の移動というだけで、地域にとってはいい結果 をもたらさないのではないかと感じた。今後10年、この基本方針で計画を進めるとなると、 衰退していく地域が増えていくのではないかとと思う。	コンパクトシティ・プラス・ネットワークの考え方については、中心市街地を強調する一方で、 ネットワーク化をも強調するものです。各地域を拠点としながら地域で形成していく部分と市全体 で取り組んでいかないとけない部分があり、その両面を含む言葉であると認識しています。 ただ、ご指摘のとおり市内中心部に人を集めるという解釈をされる側面もある表現であるため、 「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の記載は削除します。	有	総計審
3	3	土地利用の方向性については視覚化されていて影響が大きいと思う。これから10年を考え てのことかと思うが、道の駅が農業ゾーンに位置付いている。ゾーニングの根拠、その理由 を教えてください。	農業ゾーンについては、農業振興地域内農用地として位置づけられている部分を反映しています。 道の駅については既に計画が進み、釜戸町のまちづくりの拠点になるということ、市外からの集客 を見込むこともあり、交流拠点として位置づけています。 道の駅の部分についてはゾーニングが明確でないため、現状を踏まえ農業ゾーンとして位置づけ ていましたが、計画地部分を白抜きに変更します。	有	総計審
4	3	今まで窯業、焼き物のまち瑞浪と謳っているため、これからも瑞浪の未来の産業として支え ていく窯業のゾーニングについても入れていただくとこれからのモチベーションにもつなが るように思う。	土地利用の方向性では、拠点として一部の固有名称は明記するものの、産業などの分野に踏み込 んだ記載はしません。ただ、「窯業」は、焼き物のまちとして主要な産業の一つであるため「まち づくりの基本方針 4. 魅力あふれるまちづくり」の中で「地場産業である陶磁器産業の活性化」 に取り組むという文言を用いて明記させていただいています。	-	総計審
5	3	総合的にすべて書いてあるが、瑞浪らしさを含めた方向性になっているのか疑問である。課 題や産業（窯業、ゴルフ、中山道（観光・歴史））の実情を踏まえた基本方針になっている か。一般的、ありきたりなものだと、市民含めて何に向かえばいいか分からない。せめて土 地利用の方向性には「ゴルフ、窯業、歴史」といった地域資源が入ると分かりやすかと思 う。	No.4のとおりです。 なお、ゴルフ場は「観光・スポーツ・レクリエーションゾーン」として位置づけています。	-	総計審後 意見収集
6	3	土地利用の方向性の地図は、市の表記だけでも良いと思う。市民に分かりやすい町名の区切 りを記すことはどうか。	東海3県の記載をしていましたが、愛知県、三重県は削除し、岐阜県のどの位置に瑞浪市があるか を示すため、岐阜県の地図は残します。これは市民以外の方にも分かりやすく示したいためです。 町名の区切りについては、瑞浪市全体の土地利用についての項目であることから記載をしません が、基本計画に位置づける「協働のまちづくり」の分野などで明確にしていくことを検討してい ます。	-	総計審後 意見収集

No.	ページ	意見	回答	修正の有無	意見の出所
7	3	◎「地域拠点」「交流拠点」「産業拠点」のみの軸では、瑞浪市全体が捉えにくく感じる。そのため、各地区の区分け（色分け）、特性（さらにはその地区の方向性）を描くのはどうか。 ◎図に加筆、もしくは文言で、瑞浪地区、土岐地区、稲津地区、釜戸地区、大湫地区、日吉地区、明世地区、陶地区 各地区表示とその特性を表記する。 ◎産業拠点に、「窯業」という切り口は必須。瑞浪地区、陶地区の表記は必要かと思う。	瑞浪市全体の土地利用についての項目であることから各地区及びその特性までは示しませんが、基本計画に位置づける「協働のまちづくり」の分野などで明確にしていこうと検討しています。 「窯業」については、「まちづくりの基本方針 4. 魅力あふれるまちづくり」の中で「地場産業である陶磁器産業の活性化」に取り組むという文言を用いて明記させていただいています。	-	総計審後 意見収集
8	3	岐阜県・愛知県・三重県の地図があるが、位置関係を表す文言があればいいと感じた。	東海3県の記載をしていましたが、愛知県、三重県は削除し、岐阜県のどの位置に瑞浪市があるかを示すため、岐阜県の地図は残します。文言での表記までは、不要として整理させていただきます。	-	総計審
9	3	東海3県の括りは全国区ではない。色は付けずに長野県なども含めると距離感が理解しやすくなるのではないかと思う。	東海3県の表記はNo.8のとおりです。その他長野県の表記等は、どの県まで記載するかは線引きが難しいため、不要として整理させていただきます。	-	総計審
10	5	シティプロモーションについて説明を加え、どの世代にも分かりやすい表記にするといいいのではないか。	シティプロモーションについては、直訳するとcity（市）、promotion（促進活動）です。地域の魅力を内外に発信し、活性化させる活動という解釈になりますが、比較的浸透している文言であるため、表記は変えないものとします。	-	総計審
11	5	シビックプライドという新しい言葉が出てくるが、この言葉が、イコール郷土愛という感覚では読むことができないので、これに注釈をつけるなり文言を足していただきたい。シビックプライドという言葉は、移住者の獲得や新しい市民活動に対する気持ちにとっては非常に大切なものであると思うので、言葉を変える必要はないがわかりやすいものにしてもらいたい。	注釈を付します。	有	総計審
12	5	シビックプライド等の横文字については、読者に理解できるように注釈を付すなどできないか。	No.11のとおりです。	有	総計審後 意見収集
13	5	「(2)まちなみ」の文章を読むと、全地域でなく、歴史・文化の感じられる限定地域を連想させる内容になっているように思う。その場合は、表記の順番をもう少し下げても良いかと思う。(3)住環境の中の「空き家利活用」や(4)協働のまちづくりなど、今後の社会問題として大変重要なものだと思うので(2)と順番を入れ替えても良い印象を受ける。)ただし、まちなみの文章が「道路の整備」、「田畑の保全」など、まちなみ全体の整備ということであれば、全地域に関係してくるので今の位置で良いかと思う。文章の再検討か順番の入れ替えを検討されてみるのはいかがでしょうか。	第6次総合計画において、「まちなみ」の分野には、景観計画に関すること、屋外広告物等の管理、都市公園の管理等について位置付けていました。第7次総合計画においても同様のイメージです。「道路の整備」については「5. 持続可能なまちづくり (3) 道路・河川」、「田畑の保全」については「4. 活気みなぎるまちづくり (1) 農林業」にて位置づける方向で検討しています。協働のまちづくりは、第6次総合計画に引き続き重要視すべきであることを踏まえ、「(2)まちなみ」と「(4)協働のまちづくり」の順番を入れ替えることとします。	有	総計審後 意見収集

No.	ページ	意見	回答	修正の有無	意見の出所
14	7	全体的にこの資料をみた感想として民間企業の誘致や積極的に交渉してほしいというイメージがなく、普通の私生活について充実していくような雰囲気になる。東濃5市の中でも、例えば多治見市の場合はどんどん開発が進み、人口が流入し、結果的に子どもの人数も増えていき、生活がしやすくなっている。東濃5市の中で吸われてしまうというような弱い立場の地区との認識がある。流出していかないよう民間企業を積極的に応援し、古くからある企業や農業等、また新しい分野にチャレンジしている企業を応援するメッセージ性の強いものが必要ではないか。産業界や金融業界との連携や地域を盛り上げていくには民間の活力も必要であり、そのインフラを整備するための制度を行政がつくっていくという部分で、両輪で回していくようなメッセージ性をもったビジョンブックを作成した方がいいのではないか。今の小中学生が10年後、15年後に働く職場環境がたくさんあり、家族で根づいて生活や子育てができる環境が必要である。ビジョンブック作成時にはこの辺りも加味していただきたい。	視覚的に訴えていくための方策については、検討を進めたいと考えます。 現状としては、「クリエイション・パーク」という工業団地を整備し、それ以外の工業用地の適地については保安林が多いという理由など、企業が活用できる適地がないのが現状です。進出を検討される企業からは瑞浪市内に適地はないかという問い合わせもあるため、大規模なまとまった土地はないものの、そういった要望にも対応していくような内容も盛り込んでいけたらと考えます。今後、基本計画を策定する中で、新たな事業にチャレンジすることへの支援について具体的な策を記載したいと考えます。起業される方への補助金の見直しや、既存の企業に対してもブラッシュアップに対する支援を検討し、基本計画で位置づけていきたいと思います。	-	総計審
15	7	「4. 活みなぎるまちづくり」において、瑞浪市の既存資源を活かした方針は述べられている一方、企業誘致など新規に取り組むことが明記されていなかった。既存資源を活用した産業推進に取り組むことは重要であるが、それらの産業が衰退する可能性があってもおかしくはない。したがって、方針として新規に取り組むことに対する姿勢について一文明記してみてもどうか。	「魅力ある産業づくりに取り組むとともに、・・・」という文言を文頭に明記することとします。	有	総計審後 意見収集
16	7	瑞浪経済の推進は、行政・商工会議所の両輪があって初めて成り立つということを踏まえ、その一文をどこかに、可能であれば入れてもらえないか。7ページ「活みなぎるまちづくり」の商工業のところ会議所との連携という部分を入れていただけないか。	7ページの各種団体と表現している箇所には、商工会議所や自治体、まちづくり推進組織や教育機関である小中学校、高校、大学等が含まれています。今回、基本構想についてはシンプルな表現で進める方向性であることから、写真などのビジュアル面で、多様な団体の関連性がイメージできるよう、写真の活用を視野に入れていきたいと考えます。また、基本構想よりも具体的に表現する基本計画において、記載方法を検討したいと考えます。	-	総計審
17	7	行政と会議所は経済界の発展の為、両翼と思えばいいと思います。本基本構想については瑞浪市の10年後・20年後の未来像を示すものと判断するものですので、【行政と会議所は連携して瑞浪市経済の発展していく為協議連携して推進する】と明示をお願いしたい。	No.16のとおりです。	-	総計審後 意見収集
18	7	活みなぎるまちづくりが大切だと思った。休田・休畑を利用して市民に貸し出すとかみんなの畑と一緒にやるとかするシステムを作ると、定年になった人達も友達ができて、健康にもなって良いと思う。	休耕田や休耕畑といった農地については、営農組合等の担い手の経営の拡大、安定化を図ることを目的に、担い手へ集積を進めていく必要があると考えています。なお、市民の皆さんが利用する農地については、市内各地に耕作が可能な「レクリエーション農園」がありますので、この農園をご活用いただいています。	-	総計審後 意見収集
19	7	最初のリード文章について、観光が第一文にでてきているが、まず町の活気は、地場産業や地域産業が支えていると思う。観光は第二文にし、まずは、その文章を全面押すのはどうか。たとえば、「魅力ある地域産業づくりを行いながら、地域資源を最大限に活用した～」のように、まずは魅力ある地域産業づくりをしっかりと表記するのはどうか。	No.15のとおりです。	-	総計審後 意見収集
20	8	「持続可能なまちづくり」の「(2) 環境保全・エネルギー」の「ゼロカーボンの実現に向けて」について、学生は環境学習などで勉強しており詳しいかもしれないが、幅広い世代の方にはこれらの言葉を聞いてもピンとこない感じを受けたので、この部分についても解釈や解説が必要ではないか。	「ゼロカーボン」については、二酸化炭素排出量実質ゼロを意味する言葉として、比較的浸透している文言であるため、表記は変えないものとします。	-	総計審

No.	ページ	意見	回答	修正の有無	意見の出所
21	10	D X、G X、S D G s の部分は注釈が別に続いており、年輩の方には難しい印象を与えるように感じるため、カッコでの表記ややわらかい文言があるといいと思う。	やわらかい文言については、分かりやすく伝えたいため推奨すべきと考えますが、それにより誤解を与える場合も懸念されます。それぞれの言葉には決まった定義があるのも事実であり、その定義に従い、崩し過ぎないように注意しながら、注釈にて記載しています。	-	総計審
22	12~	・「2. 社会潮流」の記述は、「第3章 1. 計画策定の趣旨」の説明にある“策定の背景”の補完になっている。 ・「3. 本市の現状・課題と今後の方向性」の内容は、「第2章 まちづくりの基本方針」の括りを変えた説明でもある。 ・数字などのデータが示されているわけではなく、「資料」のイメージがない。 ・第5回の資料（骨子案）にあった、「計画の策定にあたって」を変更した理由は？	骨子案では、「第1章 基本構想」、「第2章 計画の策定にあたって」としていました。その後の検討過程において、このビジョンブックを見る人に、よりポイントを伝わりやすくするため、第1章、第2章と並列での記載を避けること、さらには「資料編」という文言に変更することにより、「基本構想」の内容を補完するものであることを明確に示させていただきました。	-	総計審後 意見収集
23	14	「持続可能な社会の実現」のS D G s やカーボンニュートラルなど、学生は環境学習などで勉強しており詳しいかもしれないが、幅広い世代の方にはこれらの言葉を聞いてもピンとこない感じを受けたので、この部分についても解釈や解説が必要ではないか。	「SDGs」については、10ページにおいて注釈を付し、「カーボンニュートラル」については、14ページの文面において「温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させるカーボンニュートラル」と補足説明をしています。	-	総計審
24	15	3の1「少子高齢化への対応・地方創生の推進」において、「地方創生」が分かりそうで分からない。	「地方創生」とは、「東京一極集中、都市と地方の経済格差に歯止めをかけ、地方を活性化すること」という意味であり、13ページにおいて「地方の人口減少問題の解消及び活性化に向けた地方創生の動き」と補足説明をしています。	-	総計審
25	15	どの項目も、【本市の現状・課題】の表記がないように思う。本市の現状・課題をもっと明確に記載する必要があるのではないか。現状は、社会潮流のような書き方になっていると思うが、瑞浪地区、土岐地区、稲津地区、釜戸地区、大湫地区、日吉地区、明世地区、陶地区、各地域ごとの人口減の状況、その対策など、今後の対策の方向性が見えてくるのがこの章であるのであれば、しっかりと具体案を提示してもらいたい。	本市の現状・課題を踏まえた今後の方向性を記載しています。ただ、基本構想に「本市の現状・課題」を細かく記載することはせず、基本計画においてまちづくりの基本方針ごとに現状・課題を記載することを想定しています。ここでは、「本市の今後の方向性」というタイトルに変更します。	有	総計審後 意見収集
26	17	28,000人という人数が適正な人数か？他市町の表記を参考にされてはどうか？	社人研の推計によると、本市の人口は、令和42年（2060）年に20,599人になるという結果が出ています。しかし、人口減少を自然の流れに任せるのではなく、国、岐阜県の示す人口ビジョンや第7次総合計画の計画期間での施策効果を踏まえて、28,000人という長期的な目標人口を掲げたものです。岐阜県の人口ビジョンでは、自然動態（出生数・死亡数の推移等）と社会動態（転入転出の推移等）により県内市町村の人口動向を踏まえています。人口減少社会において、人口が減少する中でも持続可能な行財政運営を進めることが重要です。 子どもを産み育てやすい環境を整備する施策や親となる若い世代を呼び込む施策など、人口減少対策は様々ですが、効果が出るまでには長い期間が必要です。第7次総合計画期間で重要視する「子育て支援」や「シティプロモーション」、その後も見直し・改善を行いながら目標人口を達成できるよう進めていきます。なお、基本計画において総合戦略の内容を含める中で、人口ビジョンの内容をもう少し細分化して記載することを検討しています。	-	総計審後 意見収集

No.	ページ	意見	回答	修正の有無	意見の出所
27	-	平成12年（2000年）に施行された地方分権一括法では条例制定権の拡大、権限譲渡等が進み、地方自治体は自らの責任と判断のもと地域の実情やニーズを踏まえたまちづくりを進めることが求められると記載がしてあるが、明らかに日本全国の地方はこの地方分権一括法の施行以来、失われた20年～30年と言われる日本政府の間違った経済政策の失敗もあり、長期間にわたるデフレ不況の中、衰退の一途を辿っていると思う。瑞浪市も平成12年時点では人口も42,000人を数えていた。第6次総合計画の点検でもあったように、瑞浪市の財政運営は改善されていても市民の満足度は低下しているデータも見受けられた。市行政運営の過度な緊縮財政は自粛し、市民が思い描く街づくりを行う予算を拡充し、今こそ3年間に及ぶコロナ禍で疲弊した市民や民間景気に活力を取り戻すべく積極財政に舵を切りなおす時期だと考える。	自治体運営にあたり、長期的な視点を持ち持続可能な行財政運営を行うことが必須です。第7次総合計画の期間中には、病院統合や駅周辺再開発、道の駅整備など大規模な事業を進められるため、これらを踏まえた運営をしていかなければなりません。ソフト面においても、業務の効率化、経常的経費の削減等に取り組む、財源確保に努める必要があります。まちづくりに対する予算についても、地域の活力を生み出すものとして、大変重要であると考えます。今後、基本計画において具体的な取組を位置づける中で、検討していきます。	-	総計審後 意見収集

基本構想に位置付ける将来都市像（案）に対する意見と回答

No.	ページ	意見	回答	修正の有無	意見の出所
1	-	「幸せ実感都市」はどこでも使われているのではないか。	総合計画審議会のほか、若者意見も聞くこととして、市内学校との連携による「ミライ創るまい	-	総計審
2	-	瑞浪市において「幸せ」というキーワードは大切かと考える。	課」を通して学生にも意見を伺いました。また、既に報告させていただいた市内小中学生アンケートや各種ワークショップ等の意見など、様々な方面から意見を伺う中で、将来都市像については、「幸せ実感都市みずなみ～いっしょに創ろう 夢ある未来～」を最終案としました。	-	総計審
3	-	「子育て」「子ども」「教育」といったキーワードを入れていただく行政もバックアップして応援するというメッセージになるかと思う。全国的に少子化が加速的に大きな問題となってきたので、今後国の施策が出てくる中でも市の行政が率先してやっていくというメッセージを伝えることにより、瑞浪市で子育てがしたいと考えて流入されることにつながると思う。	第6次、第7次と計画は進んでも、構想の方向性自体は不変なものとして、将来都市像は変えないという考え方です。瑞浪市民全ての人の幸せを願う究極の将来都市像であり、未来永劫ゆるぎなく目標とする将来都市像であると考えています。サブタイトルにあたる、6次総でいう「共に暮らし共に育ち 共に創る」を、今回の意見聴取結果や第7次総合計画の計画期間での各種事業等を見据えて変更することで示していくこととしました。	-	総計審
4	-	1番目のサブタイトルの呼びかけについては怖いと感じる。誰が誰に呼びかけているのかという受け手側の感覚があり、他人事になってしまうように感じる。2番についてはイメージしやすく、住みたいということでシティブロモーション、移住を抑えてあり、いいと感じる。1番は強く感じるので、2番が素敵だと思った。	第7次総合計画期間内には、ハード面では、瑞浪駅周辺再開発や瑞浪恵那道路の整備、道の駅整備など大規模事業が進められ、これらを拠点としたまちづくりが展開されます。また、若い世代の活力を取り入れ、協働の体制のもと、まちづくりがさらに広がります。	-	総計審
5	-	市民の方が施策の方向性を理解して一緒に向かっていく方向性が示されるのであれば、より具体的なフレーズが入ってもいいのではないかと。基本的には事務局からお話があったように、どの世代の方も、委員の方々やお子さんも含めて、瑞浪市がどうなりたいかが分かるフレーズ、理解しやすいフレーズを作っていたらと思う。皆様の率直なご意見をいただき、素敵なフレーズになることを期待している。	併せて子育て支援など、シティブロモーションの強化など、若者世代への支援や情報発信を充実させることで、持続可能なまちづくりに取り組みます。こうした背景から、市民と行政の協働の体制のもと、いっしょに夢ある未来を創ることで、幸せな暮らしを実感できるまちを目指すことと考えました。	-	総計審
6	-	「ここ一番好きまち」が愛着や知名度が低いという課題を踏まえており良いと思う。他は他市でも言えそうで実感が少ないと感じる。どのフレーズであれば「人口減少がおさまるか、幸せに生きていけるか」が大切だと思う。愛着の低い瑞浪市を変えるには「ここ一番好きまち」かと思う。		-	総計審
7	-	『誇れるまち 瑞浪』 自信をもって語れるふるさとであってほしい		-	総計審後 意見収集
8	-	「幸せ実感都市みずなみ」がいいと思ったが、都市だろうか、とも思う。		-	総計審後 意見収集

No.	ページ	意見	回答	修正の有無	意見の出所
9	-	<p>個人的には2が一番良いかと思ったが、まだ練り込みが必要だと感じる。</p> <p>案1～3を見てみて、以下のことを考えた。</p> <p>◎スローガンには他市とは異なる視点が入っていることが大事（言葉や表現など市としての独自性があってほしい）。包括的なビジョン+サブタイトルで個性を出すスタイルが良いのではないかな。</p> <p>◎行く（交流人口増）、住む（人口増）だけではなく、起業や第二創業など産業活性の意味あいも入れてほしい。また、行くだけでなく、瑞浪を応援して瑞浪と関わりを持つ人を増やすイメージを入れたい。</p> <p>◎瑞浪はなんの街になっていくのか、何のまちになっていこうとしているのか総合計画策定の狙いがスローガンから見えてくると良いと思う。</p> <p>例えば、以下にアイデアを提示させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いいところを「発掘」「発見」する瑞浪（化石の街と人の魅力を掛け合わせたもの）</li> <li>→活動は華やかではなく、それぞれを見たら小粒だけど瑞浪はキラッと光るものがあり、それらがこれからもっと増えていくことを願う。</li> <li>・挑戦できる街、自慢したくなる街、私たちの街、顔の見える街、個性うずまく瑞浪、新しい波を起こせ！みたいな元気なイメージもありか、「波」は瑞浪のロゴマークと合わせると良い。</li> <li>・「瑞浪市民」と胸を張って言える、誇りがもてる街（いま、「名古屋近く」や「多治見の横」などはっきりと「瑞浪」と言えない人が多いように思う）</li> <li>・好きな何かが見つかる街</li> <li>・あなたの幸せが町の個性になる街 行きたい、暮らしたい、良さを広めたい</li> </ul>		-	総計審後 意見収集

#### ビジョンブック構成（案）に対する意見と回答

No.	ページ	意見	回答	修正の有無	意見の出所
1	-	社会潮流の部分（p.20-21）も文章ではなく、他のレイアウトと同様にポイントを示す形にしてはどうか。ビジョンブックで文章が長いとかえって見づらくなる恐れがあるため。	お示した構成（案）のデザインでは、文章のように見えますが、社会潮流についても基本構想（案）の記載内容と同様に、ポイントを示す形となります。	-	総計審後 意見収集
2	-	市の主要産業を主張・表記すると良いと思う。	表記は基本構想（案）の内容としますが、写真の掲載にて、伝わりやすいよう考えていきます。	-	総計審後 意見収集
3	-	瑞浪は確かに観光する所が少ないと思う。また、宣伝の仕方が下手な気がするので、市役所の玄関でPRなどされてはどうかと思う。	総合計画自体のPRを含め、市全体の情報発信については、様々なツールを活用して進めていきます。	-	総計審後 意見収集
4	-	ビジョンブックは印刷した冊子以外にもPDFでダウンロードできる物も合わせて準備して頂けると良いと思う。	冊子の印刷のほか、データ版を市ホームページ等で展開していきます。	-	総計審後 意見収集